

情報通信研究機構と産総研との連携に向けた理事長会談を開催

報告

独立行政法人 情報通信研究機構 (NICT) と産総研は、2009年1月21日に産総研東京本部において、情報通信分野における研究連携を目指し、両研究機関の理事長と幹部が意見交換を行う理事長会談を開催しました。

産総研が提案した「光ネットワーク超低エネルギー化技術拠点」が科学技術振興調整費・先端融合領域拠点に採択されたことを契機として連携方策を検討していましたが、当該拠点で実施する研究課題だけでなく、NICTが掲げる「新世代ネットワークビジョン」の実現も志向したより広い観点から、両研究機関が連携しながら研究開発を推進していくことを目指してこの会談の開催に至ったものです。

会談では、両理事長の挨拶の後

に、情報通信分野にかかわる研究開発トピックスについて両研究機関の理事からプレゼンテーションが行われ、オールジャパンとしての研究開発の進め方、世界戦略、標準化に関して意見交換が行われました。

その結果、NICTと産総研は革新的

なネットワークによる持続的発展可能な産業社会を目指し、今後も情報通信分野における双方のコア技術領域に関してそれぞれ相互補完的に研究連携を行うこととしました。今回の会談を契機として、今後の両研究機関の連携が一層強化されることが期待されます。



NICTと産総研との連携に向けた理事長会談の出席者

第6回日タイ連携ワークショップ2009開催

報告

2009年2月12日～13日、産総研つくばセンターにおいて日タイ連携ワークショップ2009が開催され、タイからは、国立科学技術開発庁 (NSTDA) サッカリンド長官、タイ科学技術研究院 (TISTR) スラポル院長代理をはじめ、両研究機関の関係者、サイアムセメントグループ (SCG)、在日タイ博士課程留学生の総勢70名近くの方が、産総研からは、吉川理事長、小野副理事長、山崎理事 (国際部門担当)、中島理事・評価部長、および多くの共同研究関係者が参加しました。

今回のワークショップでは、バイオエタノール、バイオディーゼル燃料、

バイオマテリアル、ライフサイクルアセスメント (LCA)、光触媒、セラミックス、情報技術、人間福祉医工学、バイオセンサーなど、従来から連携を継続している分野、これから新たに連携を図っていききたい分野など、幅広い研究分野で活発な討論が行われました。今回は、初めてタイのサイアムセメントグループ企業が参加し、連携協力を模索しました。マネジメントセッションでは、本格研究、シンセシオロジー、イノベーションスクール、研究評価などの研究マネジメントについて意見交換がなされました。

次回の第7回日タイ連携ワーク

ショップはバンコクで開催されることが合意され、今後、各分野で一層の連携進展を図ることが確認されました。



3機関の長 (中央左から、サッカリンド NSTDA 長官、吉川産総研理事長、スラポル TISTR 院長代理) とワークショップ参加者

イベントの詳細と最新情報は、産総研のウェブサイト (イベント・講演会情報) に掲載しています
<http://www.aist.go.jp/>

EVENT Calendar

2009年3月 → 2009年4月

2月10日現在

期間	件名	開催地	問い合わせ先
3 March			
4日	デジタルヒューマン・シンポジウム2009	東京	03-3599-8201 ●
7日～8日	産総研キャラバン2009 F U K U I	福井	029-862-6214 ●
11日～13日	新エネルギー技術シンポジウム	つくば	energy04@m.aist.go.jp ●
4 April			
21日～23日	国際医薬品原料・中間体展 (CPhI JAPAN 2009)	東京	03-5296-1020

●は、産総研内の事務局です。